



2021年3月期

決算説明会資料

2021年5月19日

菱電商事株式会社

1. 当社グループの概要
2. 業績・財務の状況
3. 今後の経営戦略



1. 当社グループの概要



当社の概要



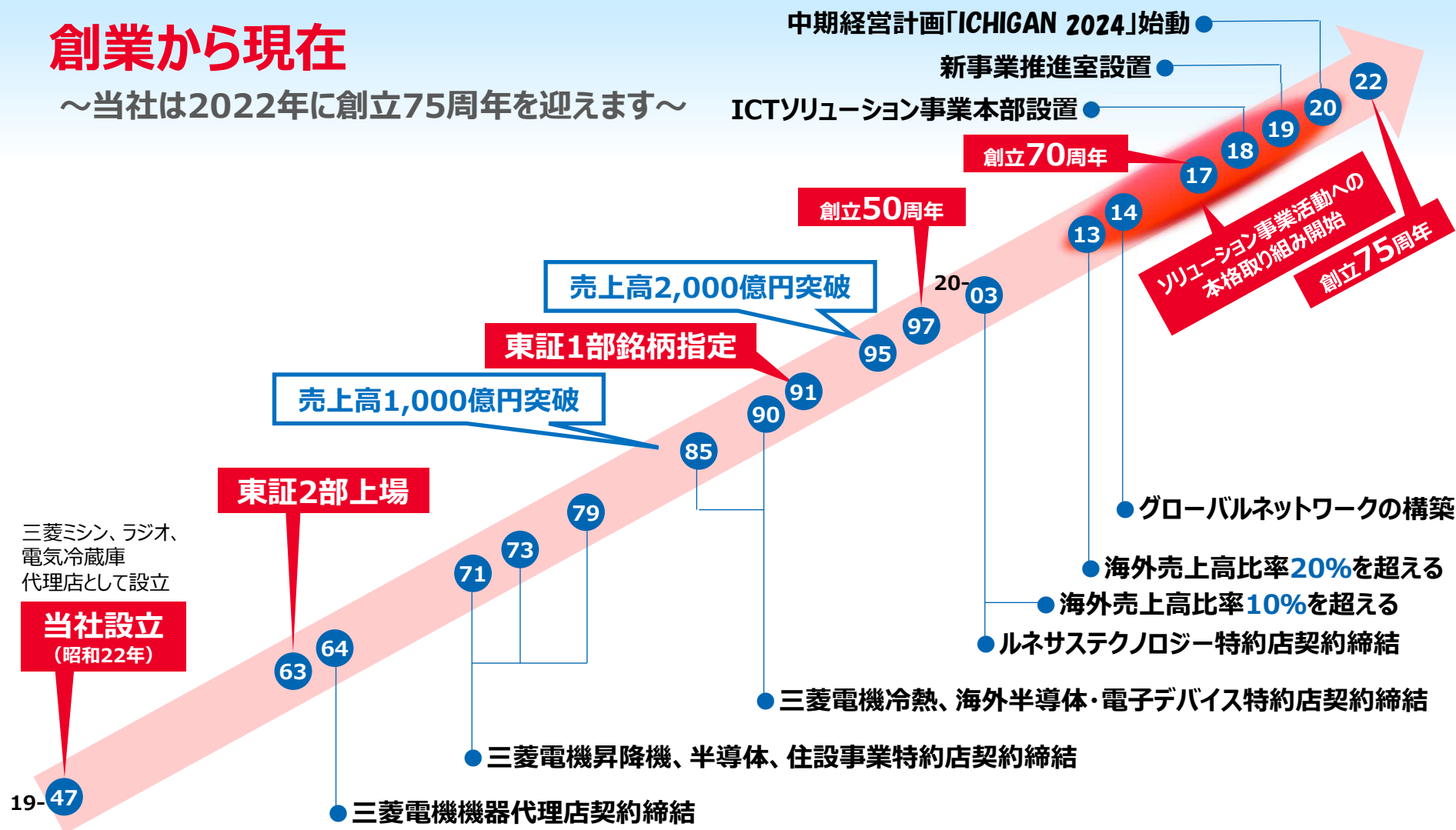
商 号	菱電商事株式会社 (Ryoden Corporation)
設 立	1947 (昭和22) 年4月22日
本 社	東京都豊島区東池袋3-15-15
資 本 金	103億3,429万8,875円 (2021年4月1日現在)
株 式	東京証券取引所市場第一部上場 <コード:8084>
代 表 者	代表取締役社長 正垣 信雄
従 業 員 数	● 連結 : 1,289名 ● 単体 : 1,082名 (ともに2021年3月末現在)
売 上 高	● 連結 : 1,968億円 ● 単体 : 1,759億円 (ともに2021年3月期)
関 係 会 社	● 子会社 : 15社 (連結10社 + 非連結5社) ● 関連会社 : 1社 (持分法適用) ● その他の関係会社 : 1社 (三菱電機株式会社)

当社グループの歩み



創業から現在

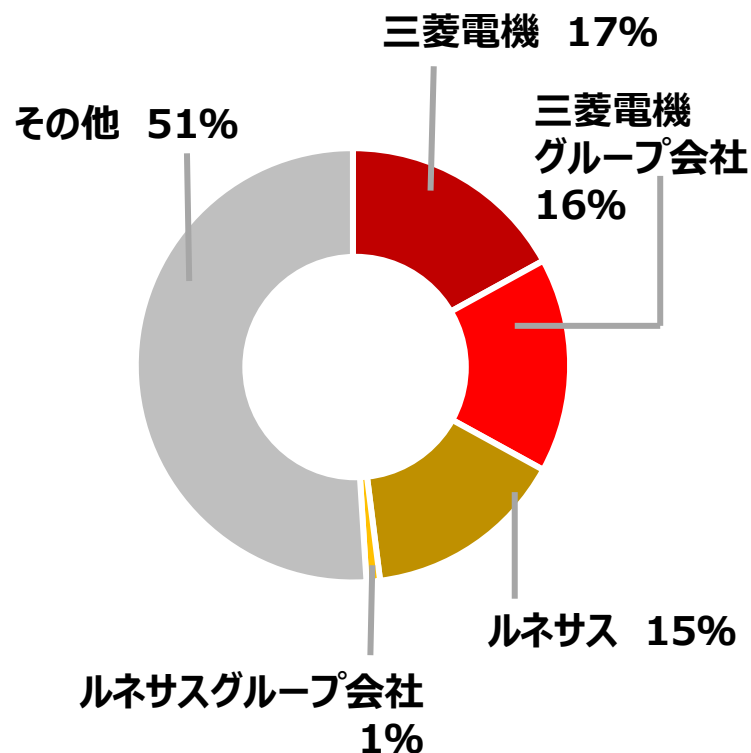
～当社は2022年に創立75周年を迎えます～



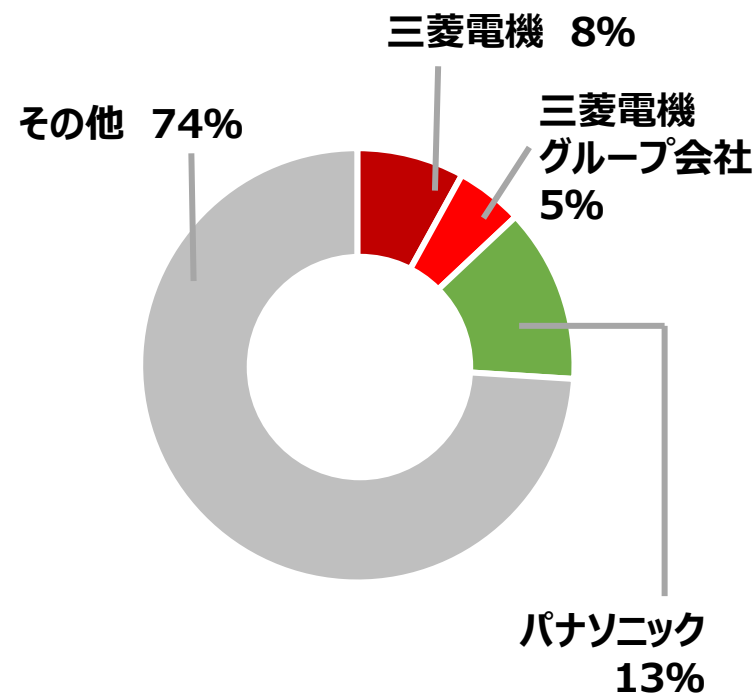
仕入先・販売先の状況

仕入先では三菱電機系とルネサス系、販売先では三菱電機系とパナソニックが比較的大きな取引シェアを持つものの、その他の構成比がともに過半を占める

仕入先別の構成比（仕入額ベース）

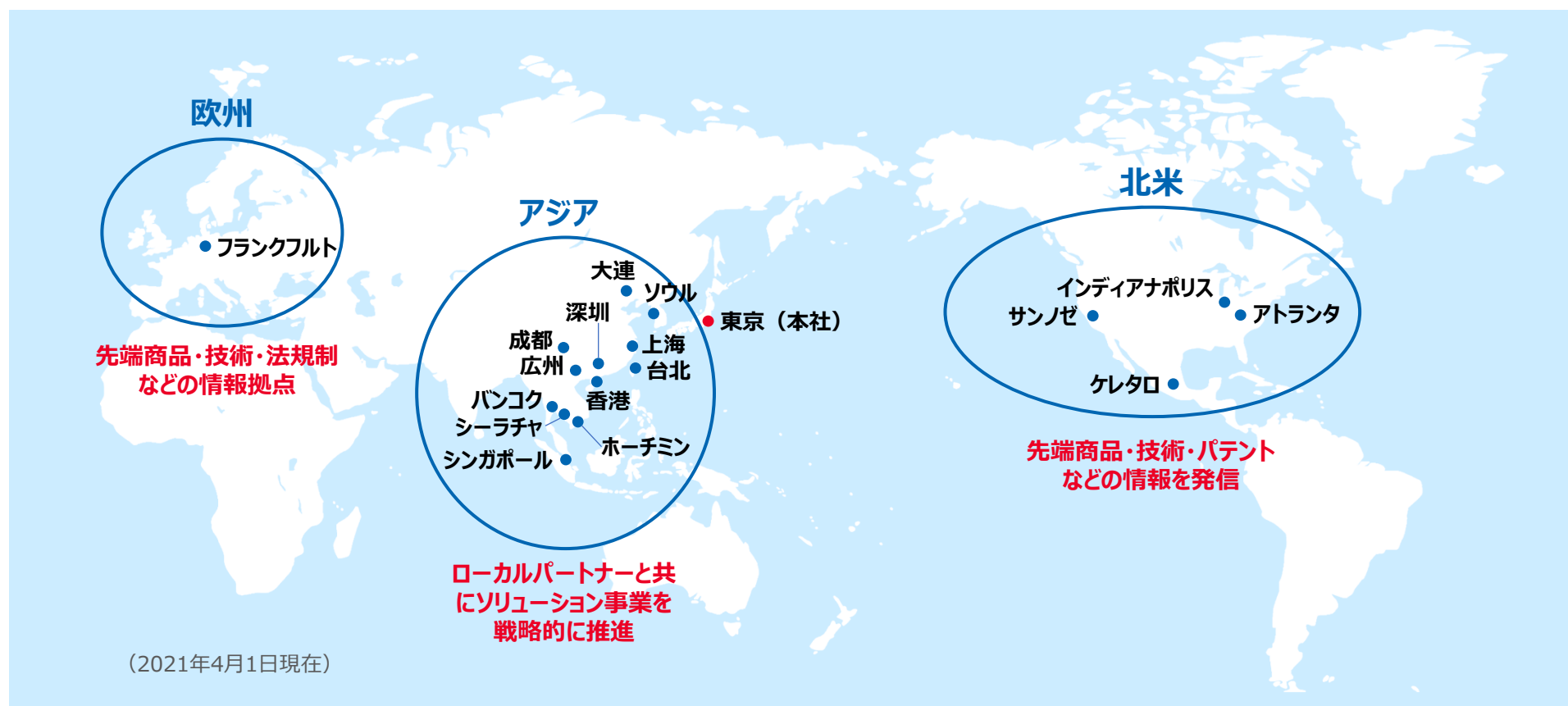


販売先別の構成比（販売額ベース）

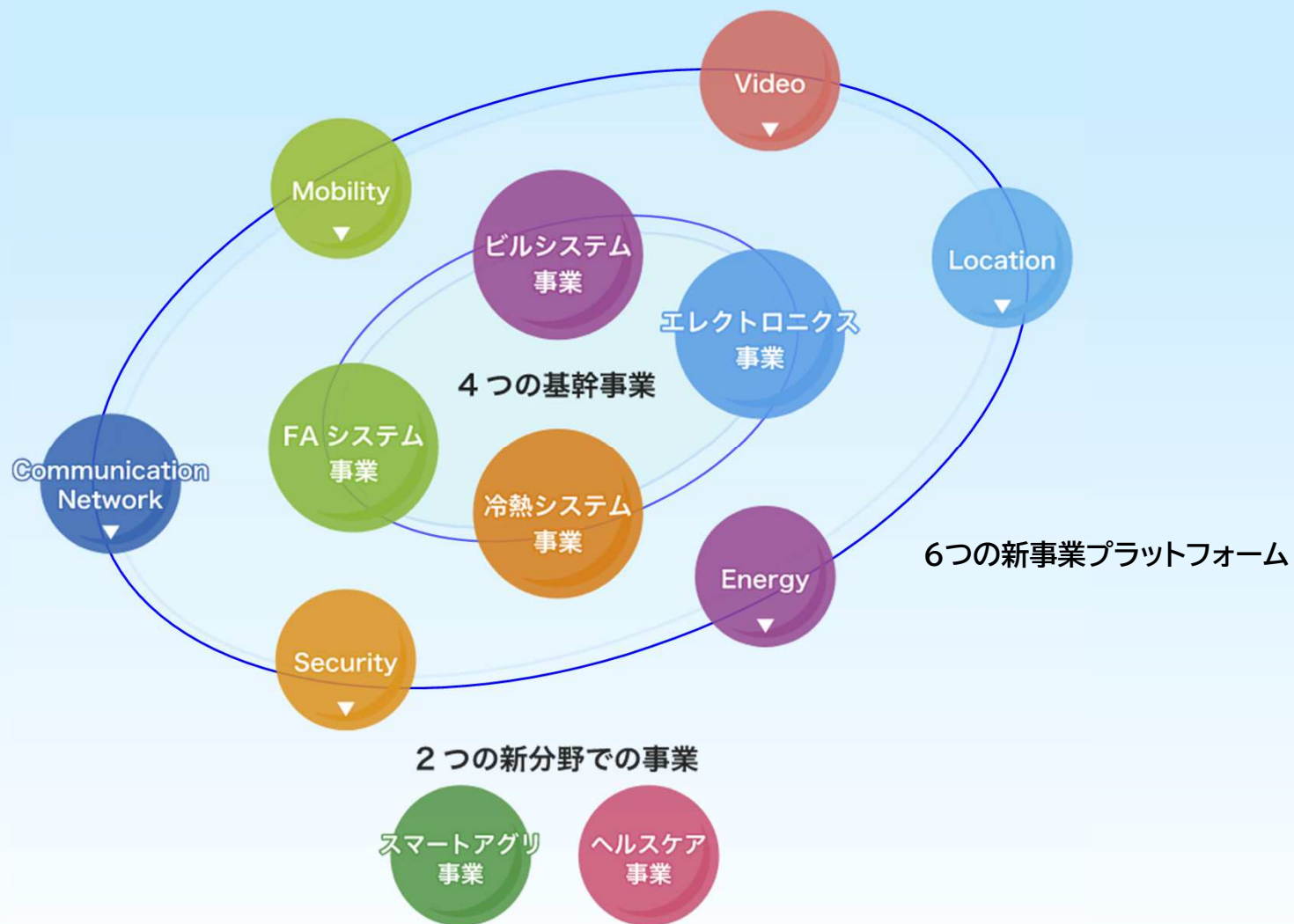


グローバル展開の状況

海外は9カ国・地域に設置した現地法人を中心に、ブランチ等を含め17拠点を展開
域内市場を俯瞰した戦略一元化と強固なネットワーク間連携により、グローバル体制を構築



RYODENの幅広い事業領域



セグメント事業内容



FAシステム品、冷熱ビルシステム品、ICTシステム品、エレクトロニクス品の仕入・販売
および各事業に附帯するサービスを提供

セグメント別 売上高（外円） および営業利益（内円）

エレクトロニクス

【売】 1,262億円／64.1%
【営】 16.1億円／43.9%

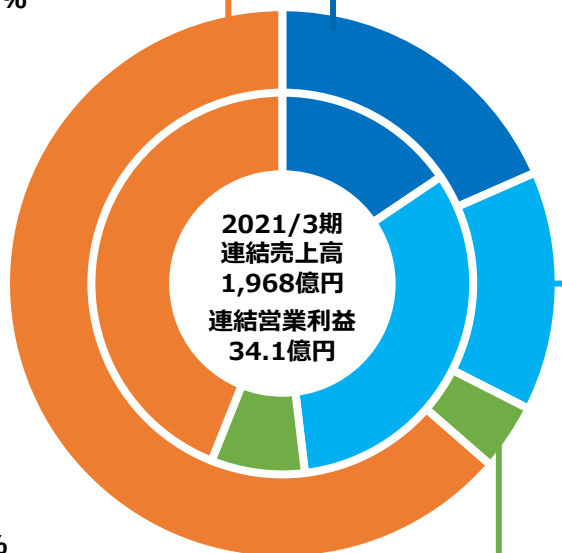
- 電子デバイス
- 産業システム など



- スマートアグリ
- ヘルスケア
- 情報通信 など
 - ・情報ソリューション
 - ・セキュリティソリューション
 - ・画像・映像ソリューション

ICTシステム

【売】 76億円／3.9%
【営】 2.9億円／8.0%



【売】 357億円／18.1%
【営】 5.7億円／15.6%

FAシステム

- FA機器システム
- 産業メカトロニクス など



- 空調設備
- 住設設備
- 低温応用設備
- クリーンルーム設備工事
- 産業冷熱システム
- ビルシステム など

【売】 272億円／13.9%
【営】 11.9億円／32.5%

冷熱ビルシステム

※売上高は億単位で切り捨て、営業利益は千万単位で切り捨て
※パーセンテージは構成比を表す



2. 業績・財務の状況



～ 2021年3月期 決算の概要 ～

決算ハイライト（連結）



【市場・業界環境】

- 世界経済は新型コロナウイルスの影響を受け、第二次世界大戦後最悪の景気後退と言われるほどのダメージを受けた
→全世界が異次元の経済危機に瀕している
- 国内経済においても、新型コロナウイルス感染拡大の先行き不透明感から、内需の弱い状況が続く
- 次世代通信規格「5G」やデータセンター向けは好調に推移
- 国内自動車生産は復調傾向だが、車載半導体不足が世界中で深刻化、多くのメーカーが生産調整を余儀なくされている

【業績・成果】

- 2021年3月期は前年度比減収減益
- 事業創出会社として価値を創造していくことを目指し、事業展開

決算サマリー（連結）

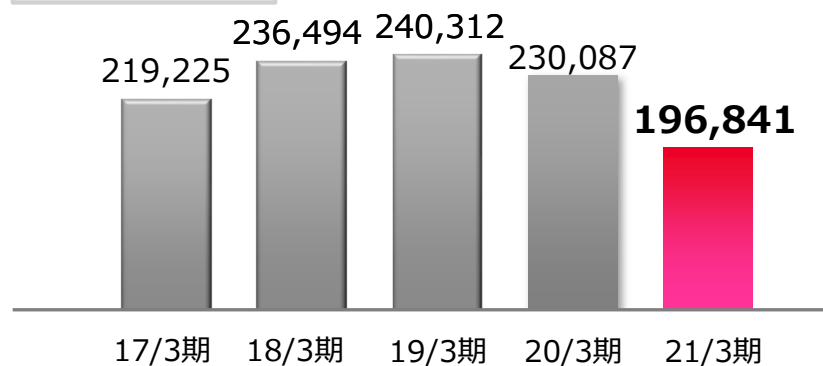


	2020/3期 (百万円)	2021/3期 (百万円)	増減率 (%)
売上高	230,087	196,841	△14.4
売上総利益	25,428	21,843	△14.1
営業利益	5,559	3,415	△38.6
経常利益	5,758	3,653	△36.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,860	2,343	△39.3

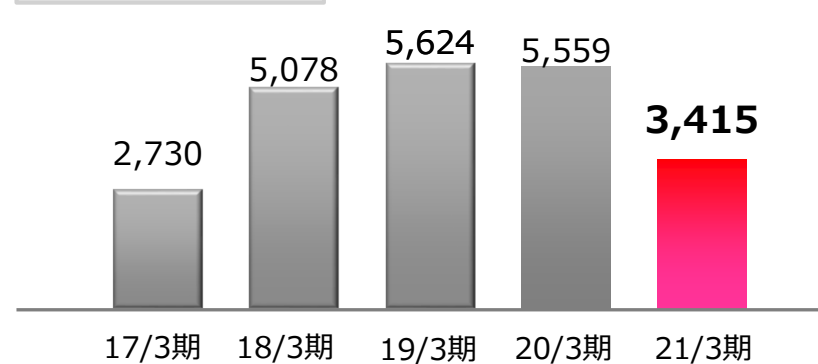
最近5年間の推移



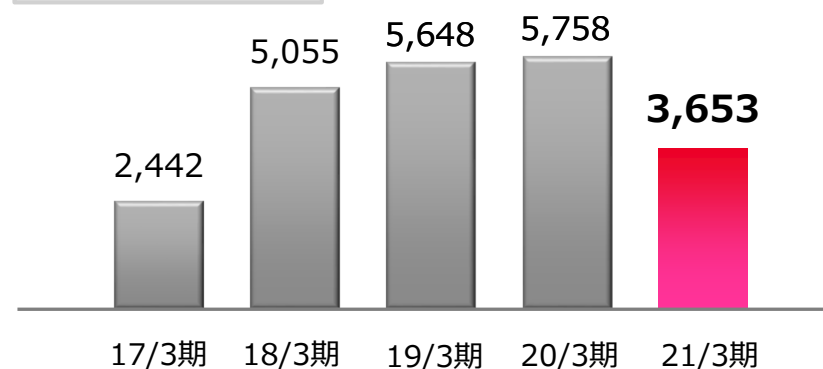
連結売上高



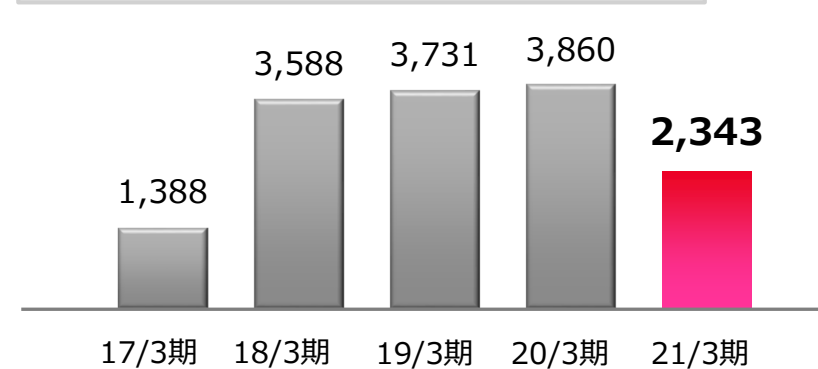
連結営業利益



連結経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



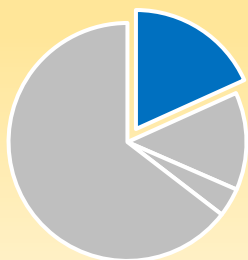
セグメント別の業績動向 1/4



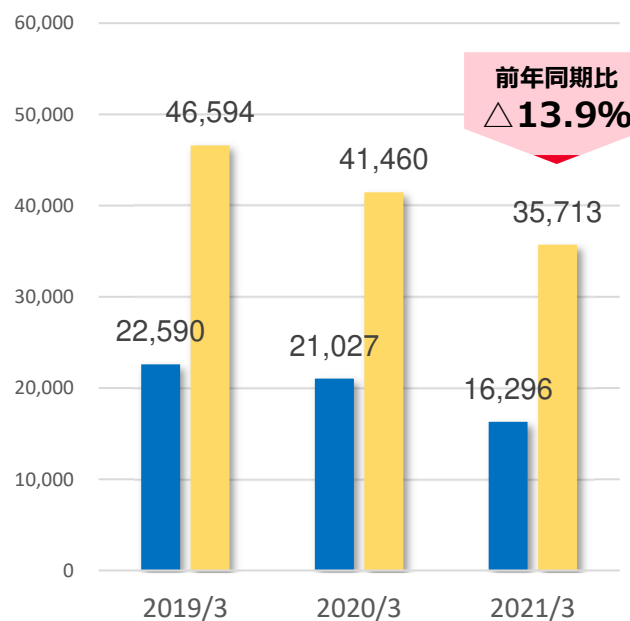
FAシステム

2021年3月期
売上高構成比

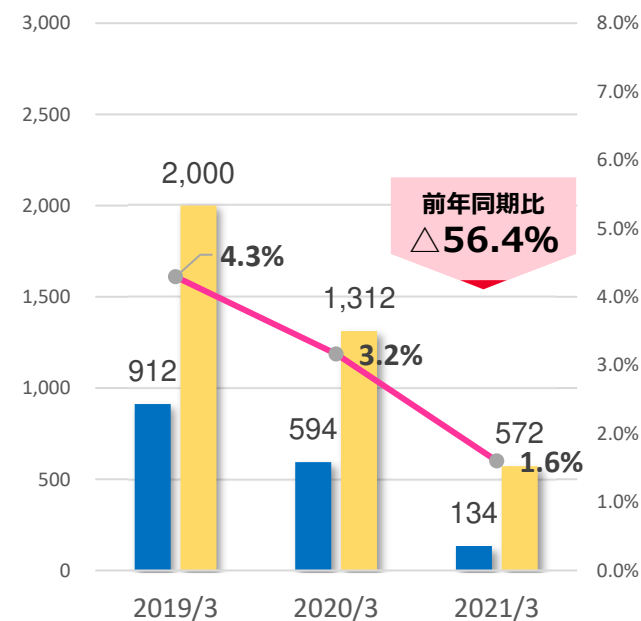
18.1%



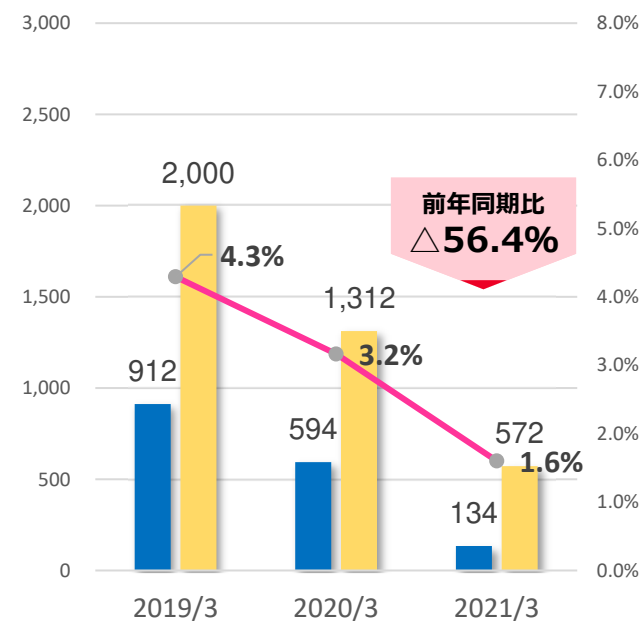
売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



営業利益率 (%)



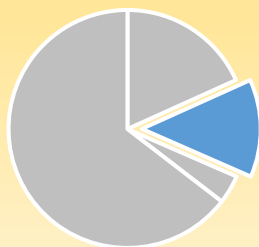
主なポイント

- 半導体製造装置関連、工作機械向けは年度後半から中国市場中心に好転
- 自動車関連を中心とした製造業向けが年間を通して低調推移

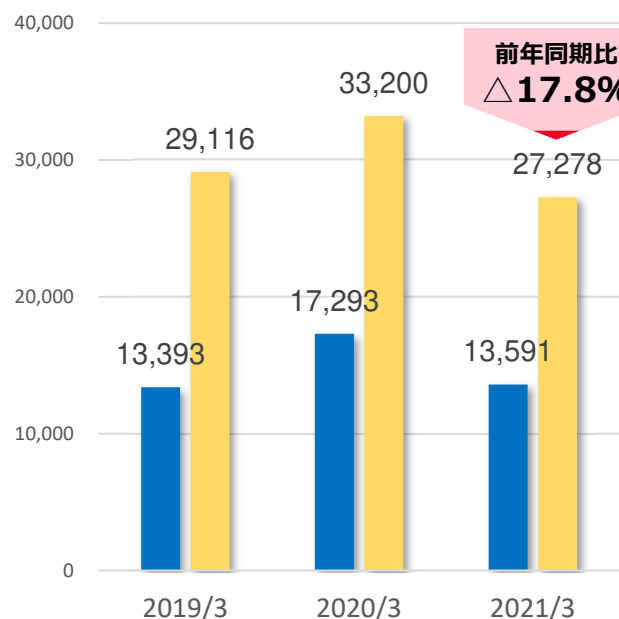
セグメント別の業績動向 2/4

冷熱ビルシステム

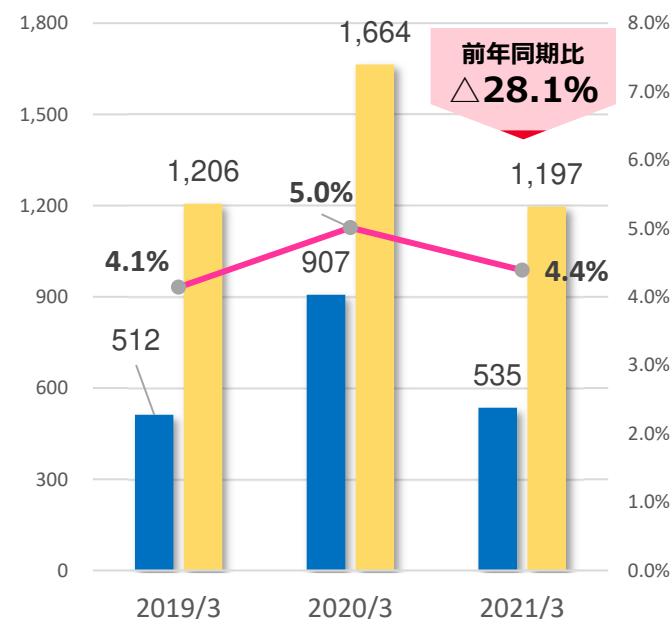
2021年3月期
売上高構成比
13.9%



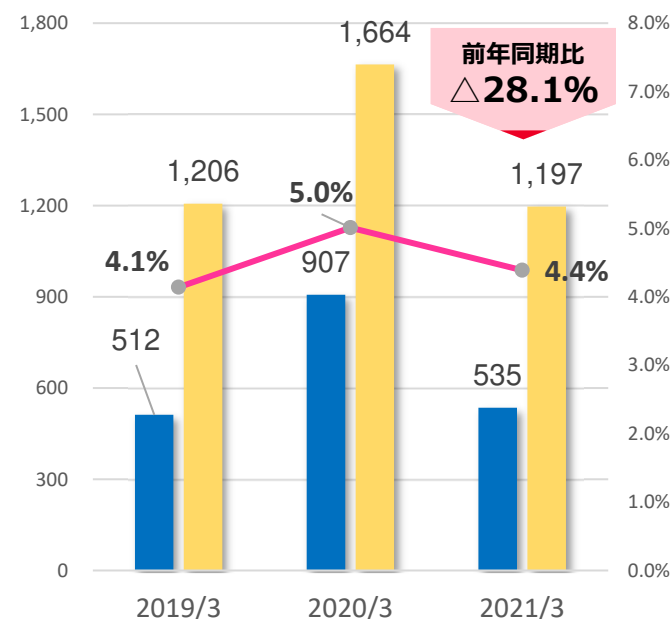
売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



営業利益率 (%)



主なポイント

- 年度後半における冷熱分野の換気需要や冷蔵冷凍分野の好調が下支え
- 建設市場の反動減及び新規案件延期・中止が影響

※ 2021/3期よりビルが冷熱ビルシステムに統合され、冷熱システムを冷熱ビルシステムへ変更しております。

セグメント別の業績動向 3/4

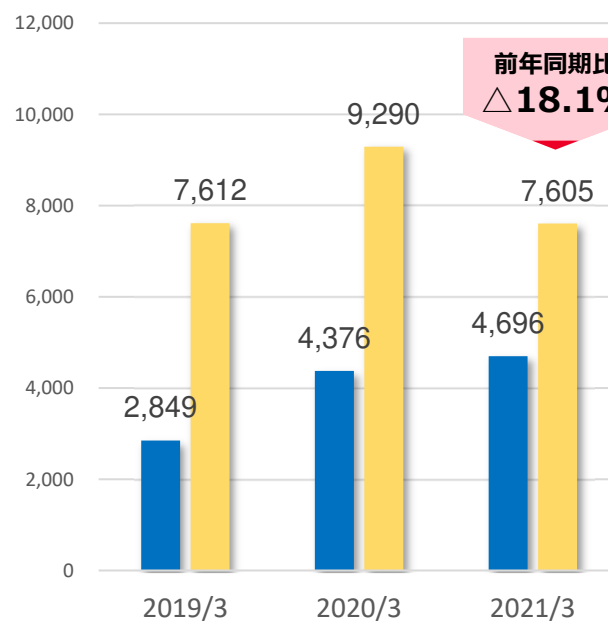
ICTシステム

2021年3月期
売上高構成比

3.9%

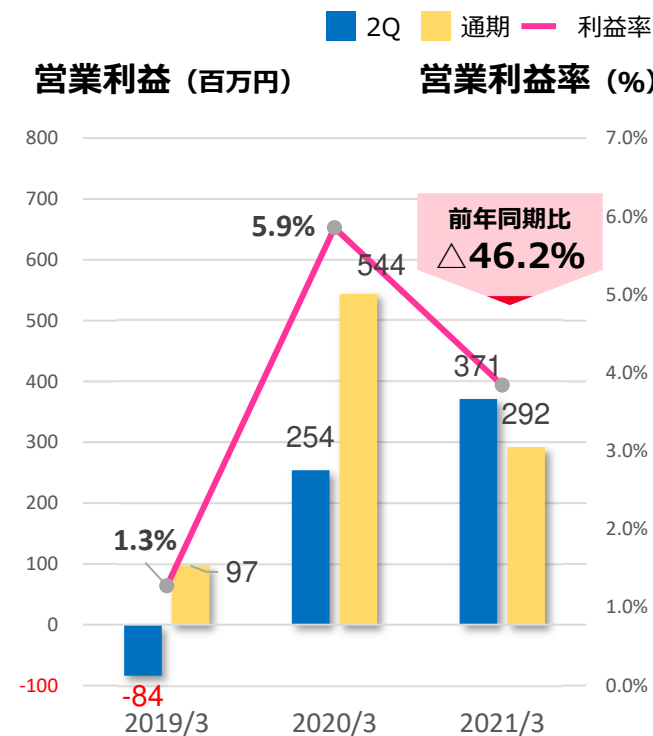


売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)

営業利益率 (%)



主なポイント

- ネットワークシステム分野はテレワーク用製品の引き合いが強く、コンポーネントビジネスは堅調推移も、モニタリングなどの工場管理システムの新規受注は低調に推移した
- ヘルスケア分野はサプライビジネスが増加基調も、病院内IT設備関連ビジネスは低調推移
- スマートアグリ分野は年度前半に大型植物工場案件の計上があったが、ビジネスモデル転換の準備期間と重なったことにより、低調推移となった

※ 2021/3期よりビルが冷熱ビルシステムに統合され、ICT施設システムをICTシステムへ変更しております。

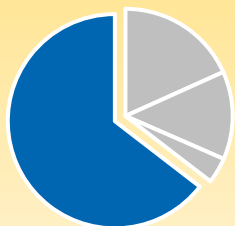
セグメント別の業績動向 4/4



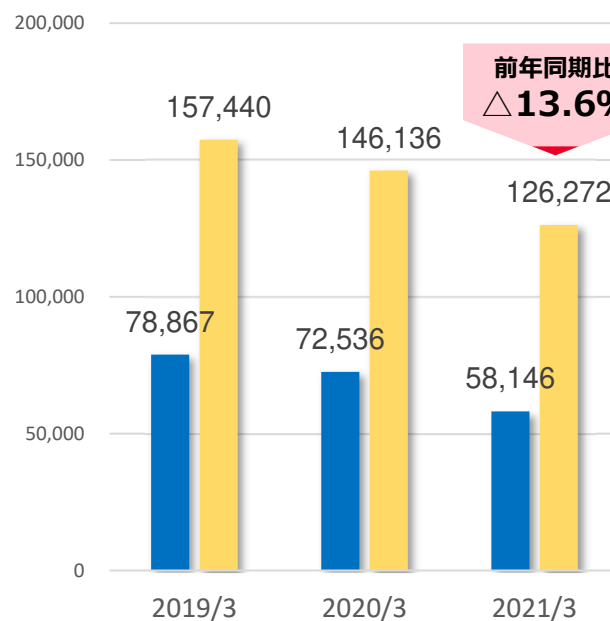
エレクトロニクス

2021年3月期
売上高構成比

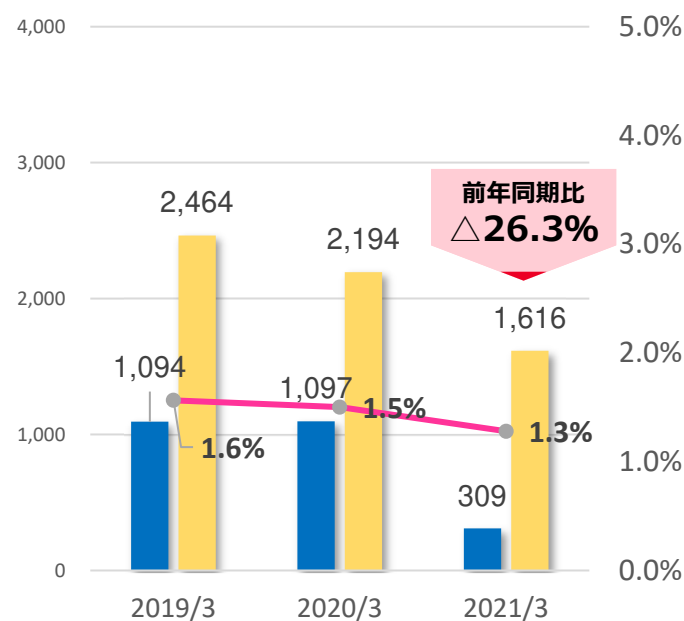
64.1%



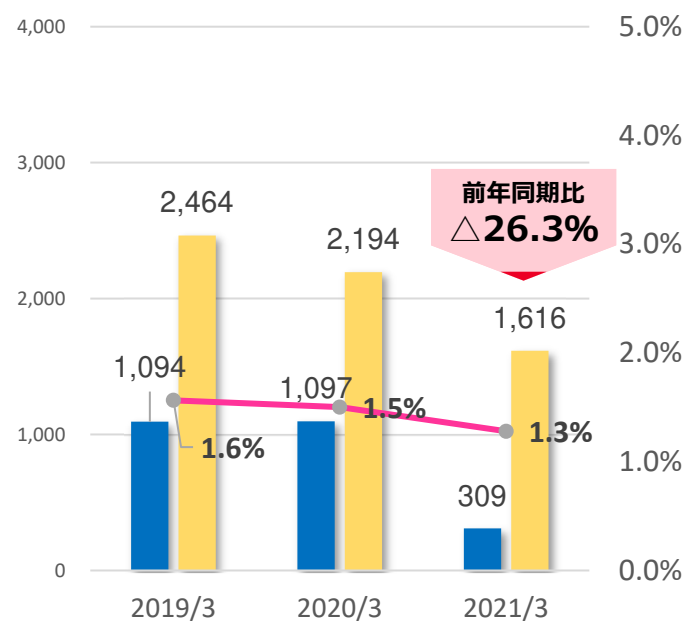
売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



営業利益率 (%)



主なポイント

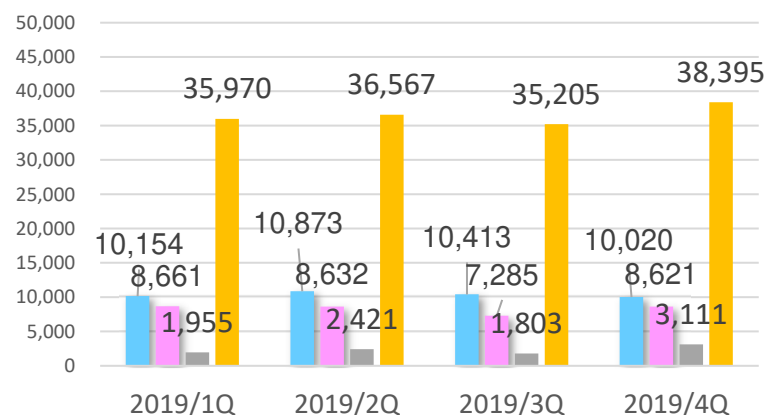
- 【国内】 ● 自動車関連向けが後半回復傾向
- 産業機器関連は、下期後半より中国向け中心に回復
- 前半の低迷をカバーするには至らず減収
- 【海外子会社】 ● 自動車関連向け回復基調も、前半の低調推移に加え、中国地域におけるエアコンなどの空調機器関連向けが天候不順の影響を受け減収

セグメント別の受注残高・売上高

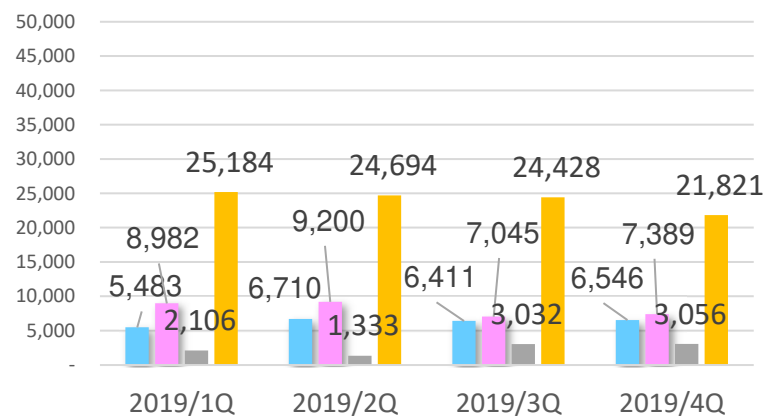


80期 各Qの売上高・受注残高一覧

売上高 (百万円)

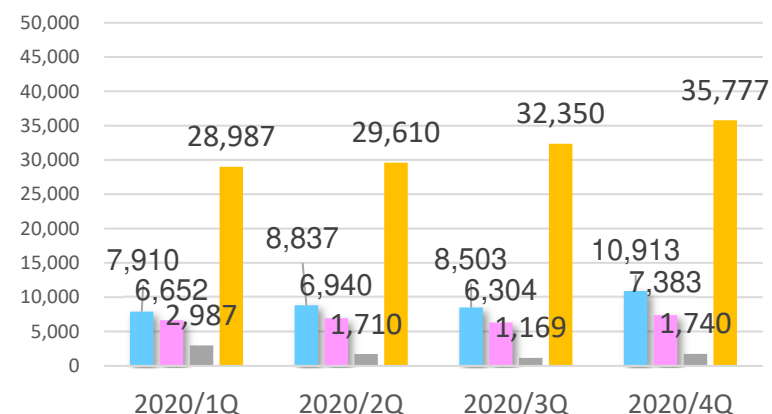


受注残高 (百万円)

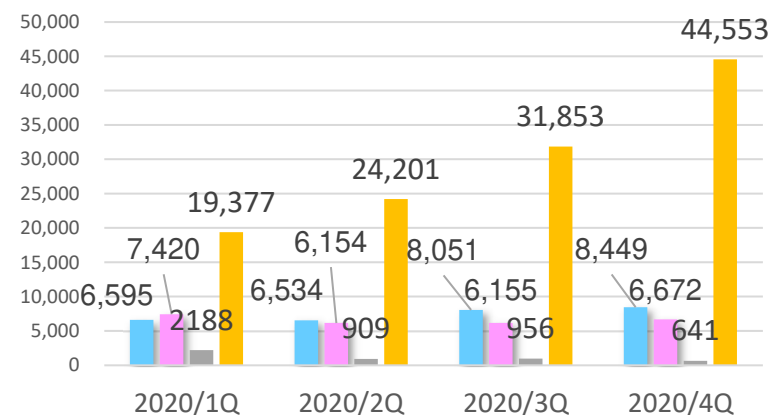


81期 各Qの売上高・受注残高一覧

売上高 (百万円)



受注残高 (百万円)



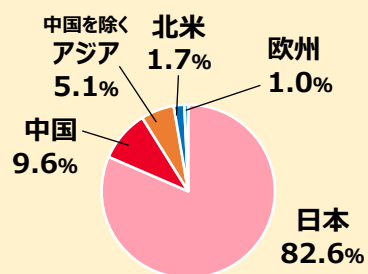
地域別の売上高推移



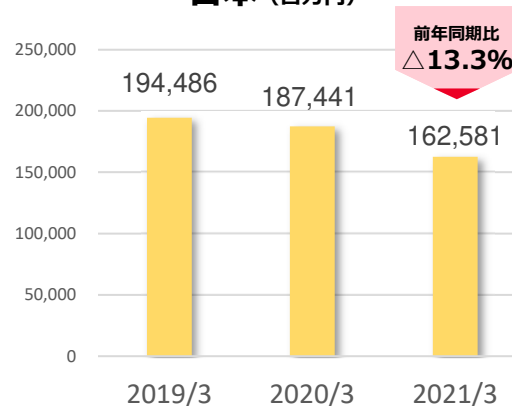
通期

地域別売上高構成比

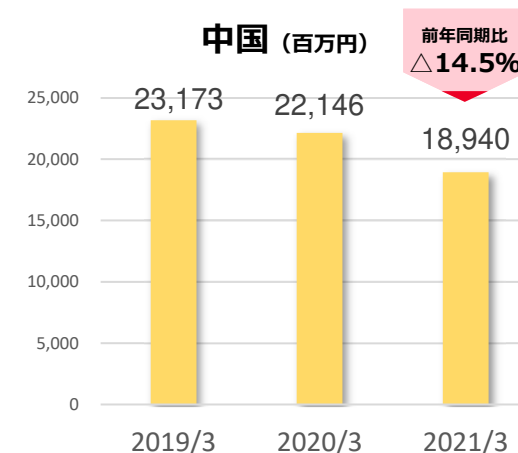
2021年3月期



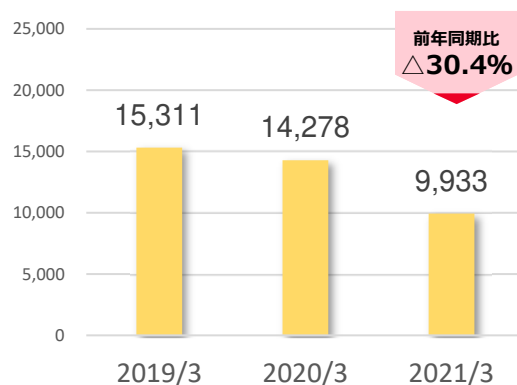
日本 (百万円)



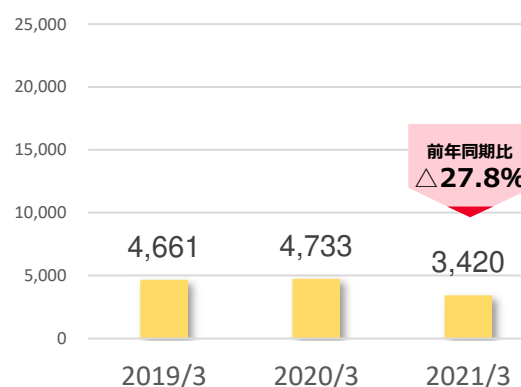
中国 (百万円)



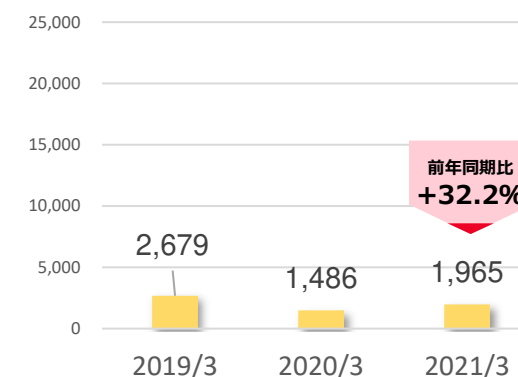
中国を除くアジア (百万円)



北米 (百万円)



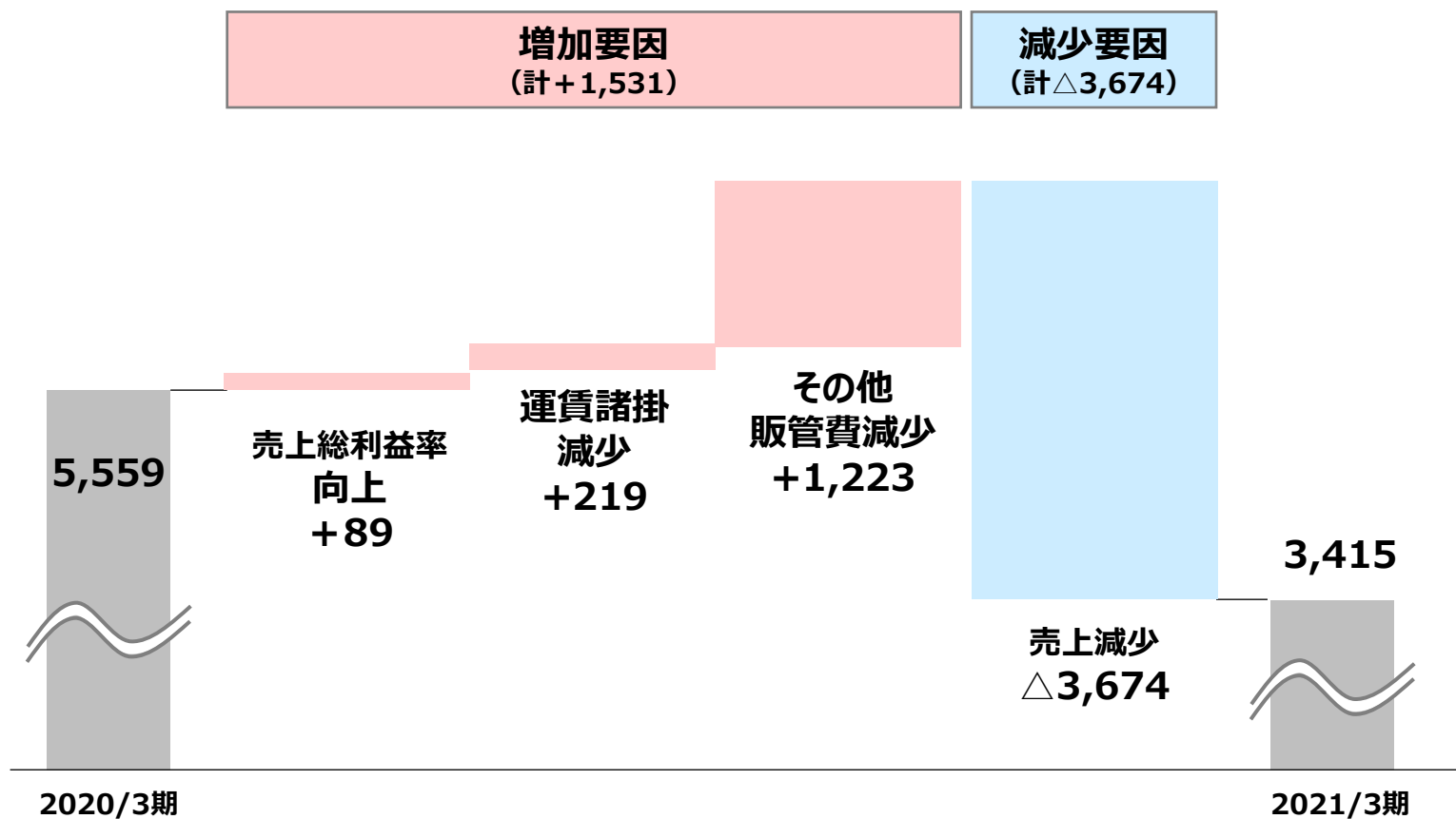
欧州 (百万円)



営業利益の増減要因



(単位：百万円)



財務の状況（連結）



【財政状態】

	2020/3末 (百万円)	2021/3末 (百万円)	増減
総資産	128,304	125,529	△2,774 百万円
負債合計	60,746	55,609	△5,136 百万円
純資産	67,557	69,919	+2,362 百万円
自己資本比率 (%)	52.5%	55.6%	+3.1 point

【キャッシュ・フローの状況】

	2020/3期 (百万円)	2021/3期 (百万円)
営業活動CF	5,938	1,939
投資活動CF	△518	183
財務活動CF	△2,281	△1,052
現金及び現金同等物	20,165	21,120

2022年3月期 通期業績見通し（連結）



	2021/3期 実績 (百万円)	2022/3期 2Q予想 (百万円)	前年同期比 増減率 (%)	2022/3期 通期予想 (百万円)	前年同期比 増減率 (%)
売上高	196,841	106,000	+14.3%	220,000	+11.8%
営業利益	3,415	1,400	+14.0%	4,300	+25.9%
経常利益	3,653	1,500	+11.2%	4,400	+20.4%
親会社株主に帰 属する 当期純利益	2,343	1,000	△6.8%	3,000	+28.0%

2022年3月期 セグメント別予想（連結）



		2021/3期 実績 (百万円)	2022/3期 2Q予想 (百万円)	2022/3期 予想 (百万円)	増減率 (%)
FAシステム	売 上 高	35,713	20,300	43,100	20.7%
	営 業 利 益	572	440	1,360	137.5%
	5G関連投資回復とコア事業の強化、事業領域拡大、新規事業創出により売上・利益共に上回る見込み				
冷熱ビルシステム	売 上 高	27,278	14,750	31,410	15.1%
	営 業 利 益	1,197	540	1,390	16.1%
	既存事業の収益最大化と、換気対策や暑熱対策などの好調市場への拡販、ZEB提案活動で上向くと予想				
ICTシステム	売 上 高	7,605	2,950	7,900	3.9%
	営 業 利 益	292	△100	260	△11.2%
	新規生産事業の早期立ち上げ、テレワーク需要取り込み、通信インフラ事業や既存事業拡大を見込む				
エレクトロニクス	売 上 高	126,272	68,020	137,630	9.0%
	営 業 利 益	1,616	720	1,710	5.8%
	自動車関連の国内・中国市場向け回復、5G関連投資回復が見込まれることから売上・利益共に挽回する見込み				
全社費用	営 業 利 益	△263	△200	△420	-
	セグメントに帰属しない新規事業開発費用				
合計	売 上 高	196,841	106,000	220,000	11.8%
	営 業 利 益	3,415	1,400	4,300	25.9%

株主還元

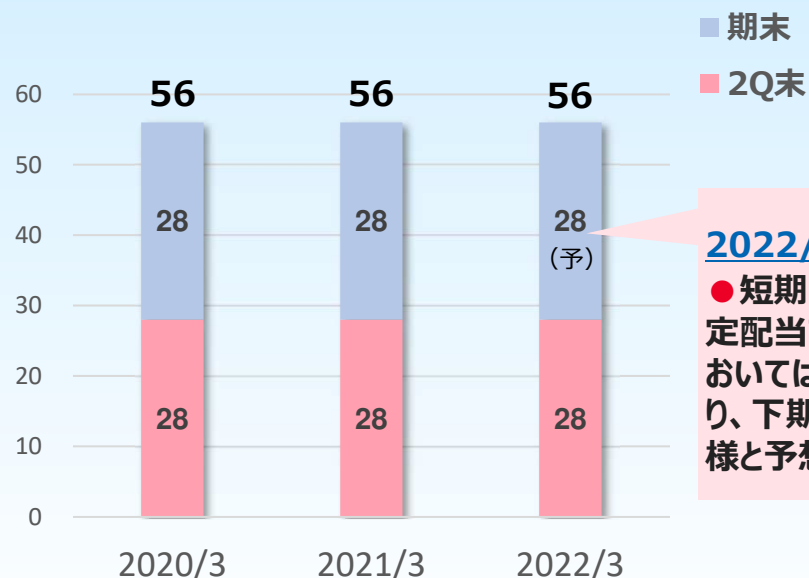


【配当政策】

- 経営基盤・財務体質の強化のための内部留保の拡充と事業拡大のための投資財源への活用を基本として、株主各位への適正な利益還元を実施
- 配当については、各事業年度の連結業績および中長期的なグループ戦略等を勘案の上、利益還元を実施

配当金の推移（円）

【配当実績】



2022/3期 配当について

● 短期的な業績に連動するのではなく、中長期的な安定配当することを配当方針にしており、2022年3月期においては、新型コロナウイルスによる影響は上期にとどまり、下期には業績回復を想定していることから、前期同様と予想する。

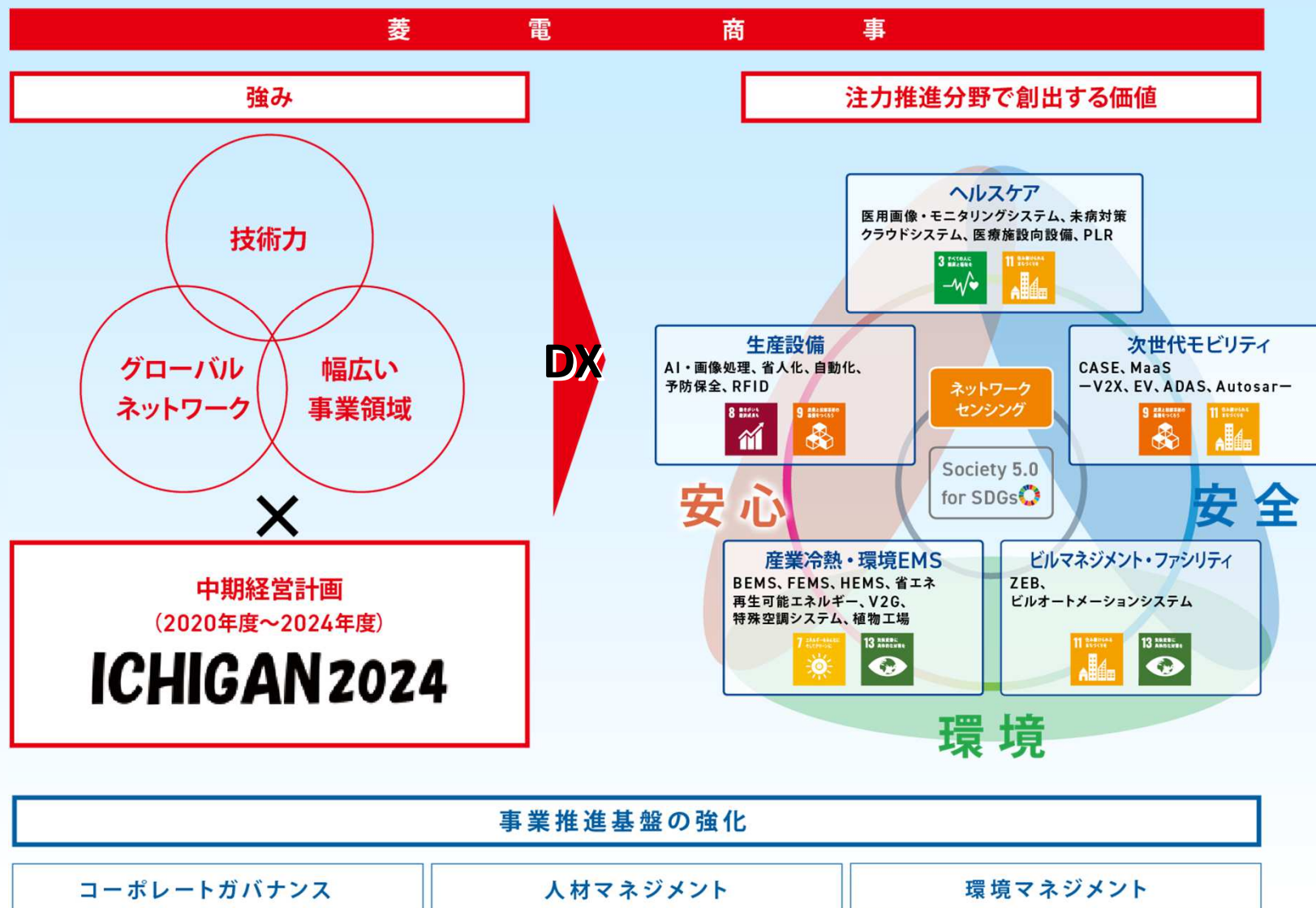
配当性向	31.5%	52.0%	40.6% (予)
------	-------	-------	--------------



3. 今後の経営戦略



RYODENの価値創造モデル



中期経営計画「ICHIGAN 2024」 戦略テーマ



環境・安心・安全でサステナブルな社会の実現に貢献

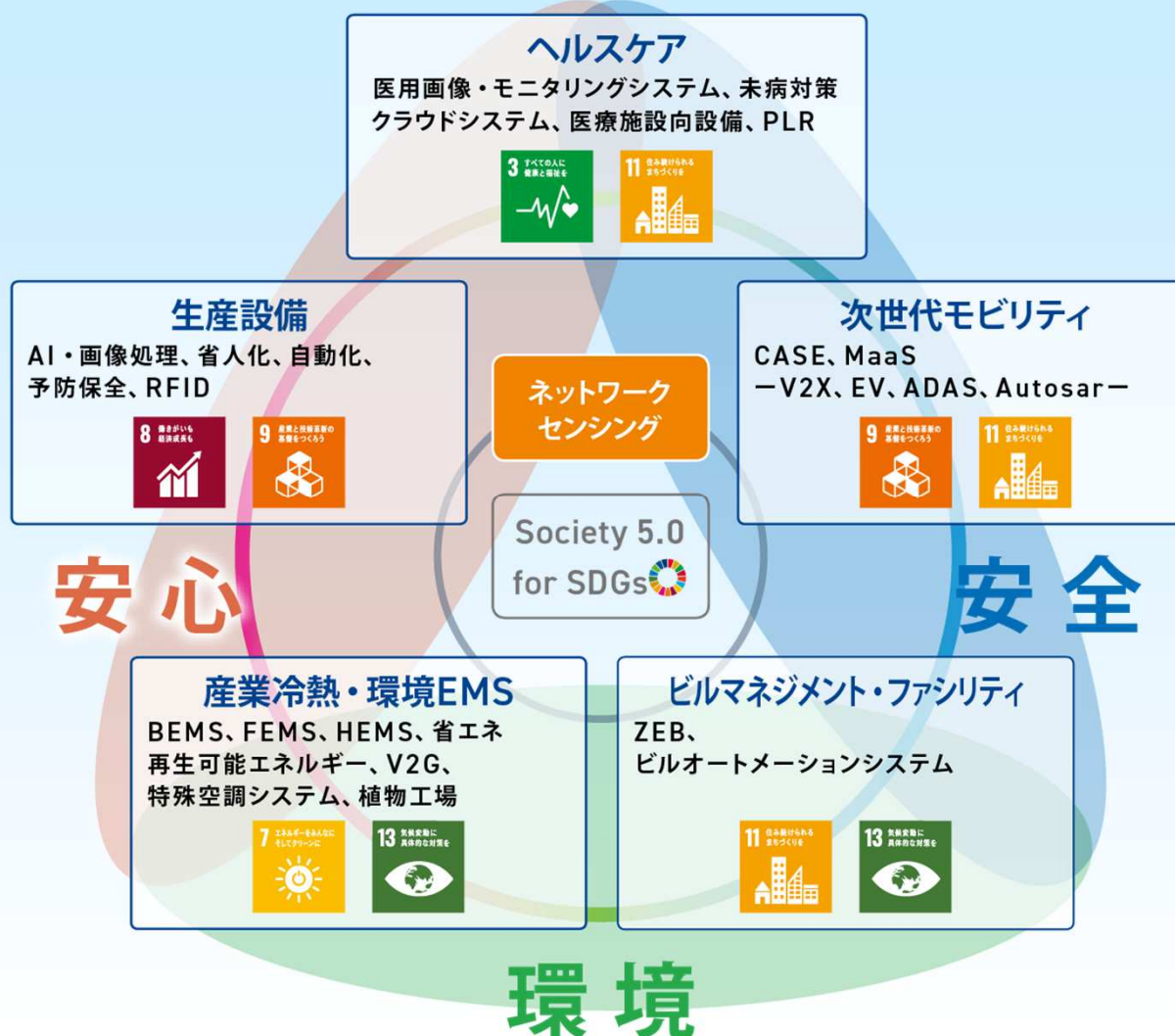
代理店、商社の枠を超えた事業創出会社として
新たな価値を生みだし続ける

3つの成長エンジンのためのDX推進



支社体制の再編…10支社から3支社へ
DX戦略推進室の設置

RYODENの注力推進分野



主な保有資格

建設業許可
(許可を受けた建設業の種類)

☑ 特定建設業：
管工事業、
機械器具設置工事業

☑ 一般建設業：
とび・土工工事業

☑ 特定建設業：
電気工事業

☑ 一般建設業：
電気通信工事業

☑ 電気通信事業登録

☑ 高度管理医療機器等販売・
貸与業許可

☑ 医療機器修理業許可

2024年度業績目標

営業利益

100 億円以上

新事業売上

18年比 150 億増

新事業総利益率

18%

営業利益率

3.8%

ROE

8.0%

ビデオネットワークシステム



◆FlaRevo Network



※FlaRevoは当社の登録商標です。

“Flarevo CONNECT”…データと映像の連動によりビジネス価値を生む



「現場とつながる。現場が見える」

- ・取り逃したくない瞬間や、保存しておきたい映像の取得を自動化
- ・パソコン映像も、カメラ同様にライブ再生・録画が可能

従来の監視カメラでは成しえなかった新たな価値を、お客様に提供

“FlaRevo CLIP”…更なるビジネスカメラ映像の活用を推進



「ビジネスカメラ映像は企業の財産」

- 複雑な操作は不要で自動で必要な情報を長期保存
- 映像は、専用のWEBページを通じて共有が可能
- お客様のご指定の環境で稼働（オンプレミス）

企業にとって財産であるビジネスカメラ映像をより活用できる仕組みを提供

RFIDタグデータネットワークシステム

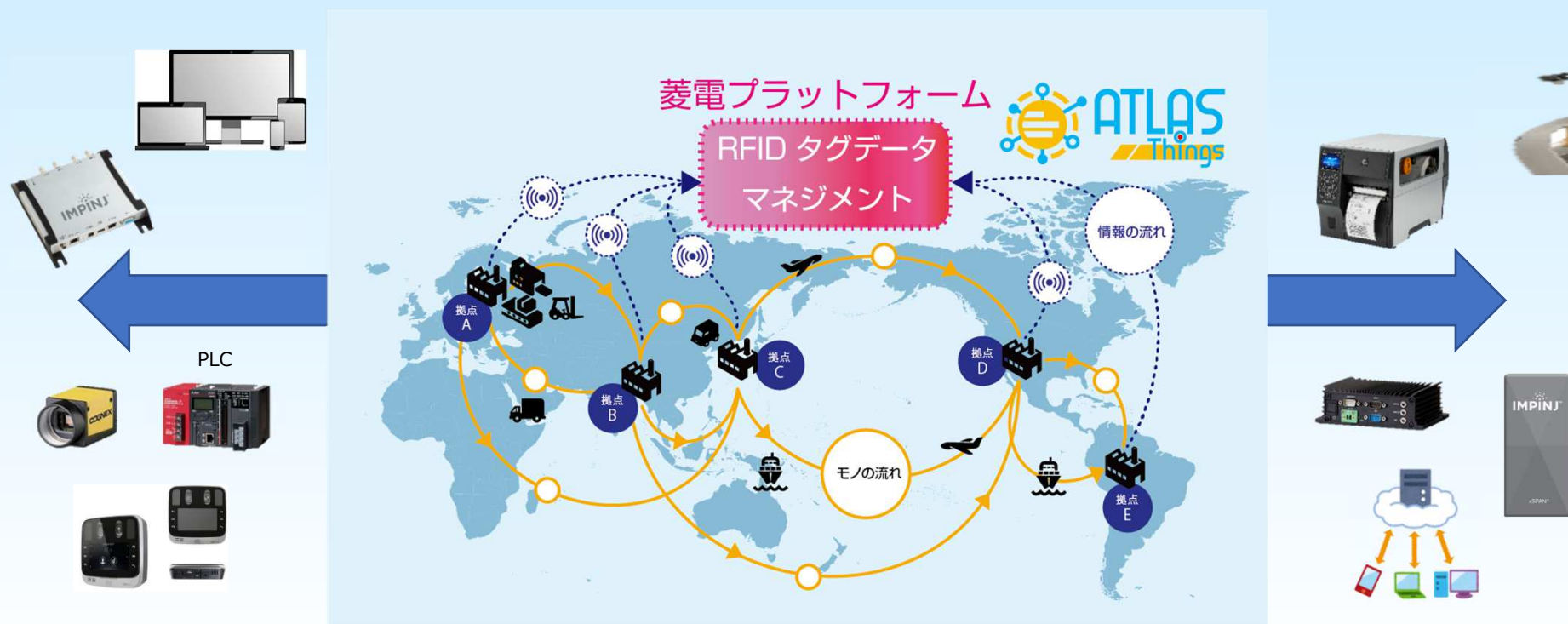


◆ ATLAS-Things

※ATLAS-Thingsは当社の商標登録です。

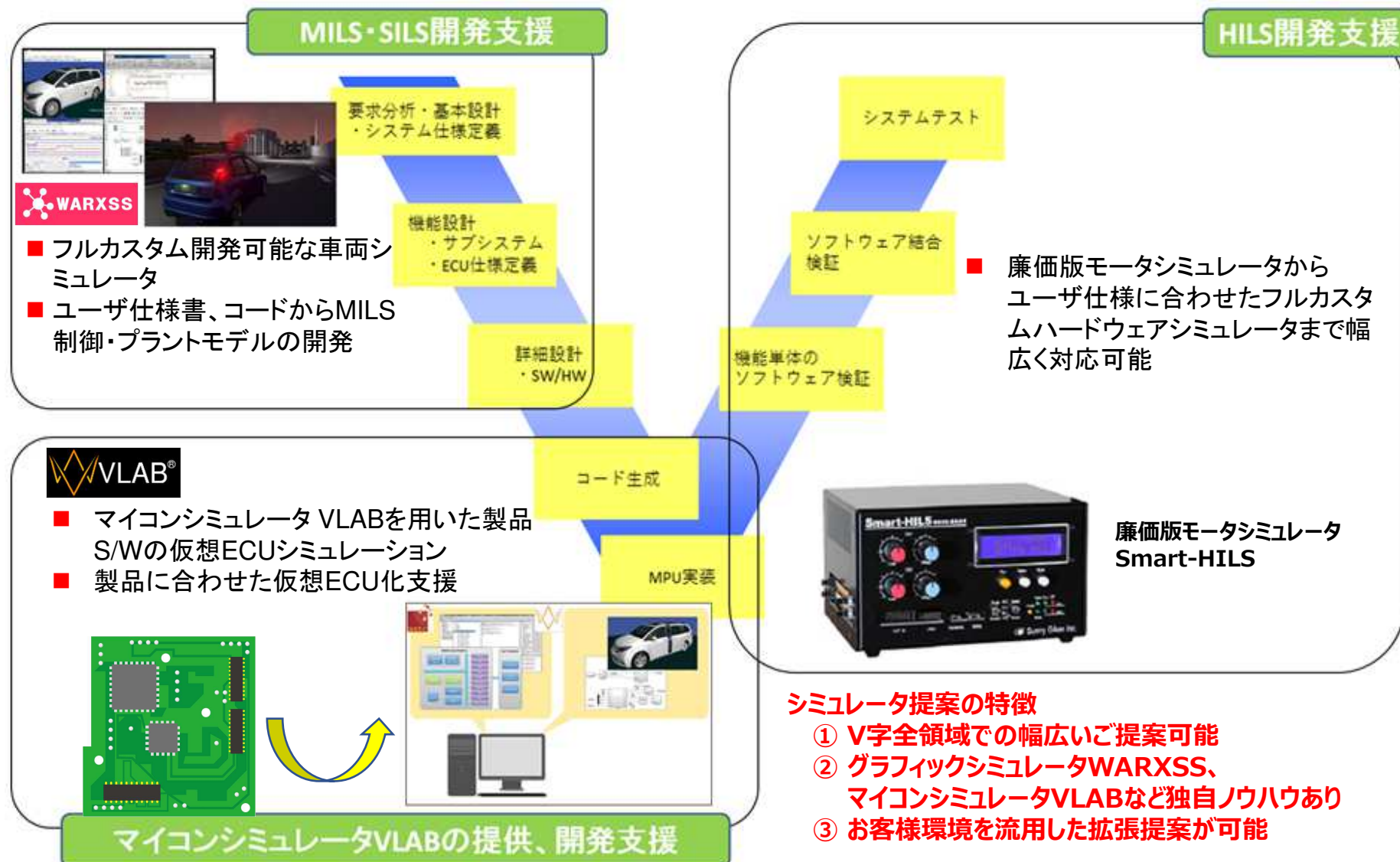
RFID、バーコードに代表される自動認識技術を活用したクラウドサービス

- ▶ 自動車業界、製造現場でモノの出入（動態管理）を見える化
- ▶ 梱包単位で階層別管理を実現（ISOなど国際規格に準拠）
- ▶ いつでも、どこでも安全なシステム環境を実現



モビリティ向け 仮想環境ソリューション

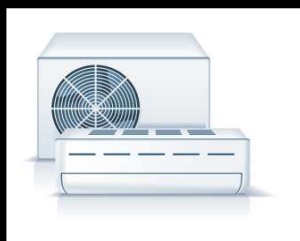
～開発工数削減：検査・解析などをバーチャルで～



スマートアグリ事業①：RYODENスマートアグリ事業



「冷熱システム」「FAシステム」「電子デバイス」の製品・ノウハウを植物工場向けに最適化しIoTシステムに統合、運営効率の高い植物工場システムを提供。



冷熱システム



FAシステム



電子デバイス



- ☐ 植物工場向けシステム機材開発 企画販売製造
- ☐ 植物工場IoTシステム開発
- ☐ 植物工場企画設計 元請専門施工

スマートアグリ事業②：実績



「機器システム開発販売・専門施工で累計80億円を突破！」

2018年～2019年

2019年～2020年

～2017年

富士山グリーンファーム(株)殿



静岡県富士市
日産1.2t 2017年12月竣工
既設建屋利用型

西濃ホールディングス
東海西濃(株)殿



岐阜県土岐市
日産1.5t 2019年6月竣工
新築

国内最大級

三菱ガス化学(株)殿
MGCファーマックス(株)殿



福島県白河市
日産2.6t 2019年10月竣工
新築

世界最大級

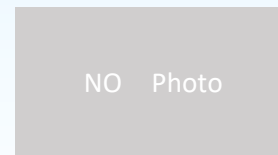
彩菜生活合同会社殿 東京電力エナジーパートナー殿
芙蓉総合リース殿



静岡県藤枝市
日産5t 2019年11月着工
2020年6月竣工
既設建屋利用型

国内最大級

(株)ベジノーバ殿 東芝プラントシステム殿



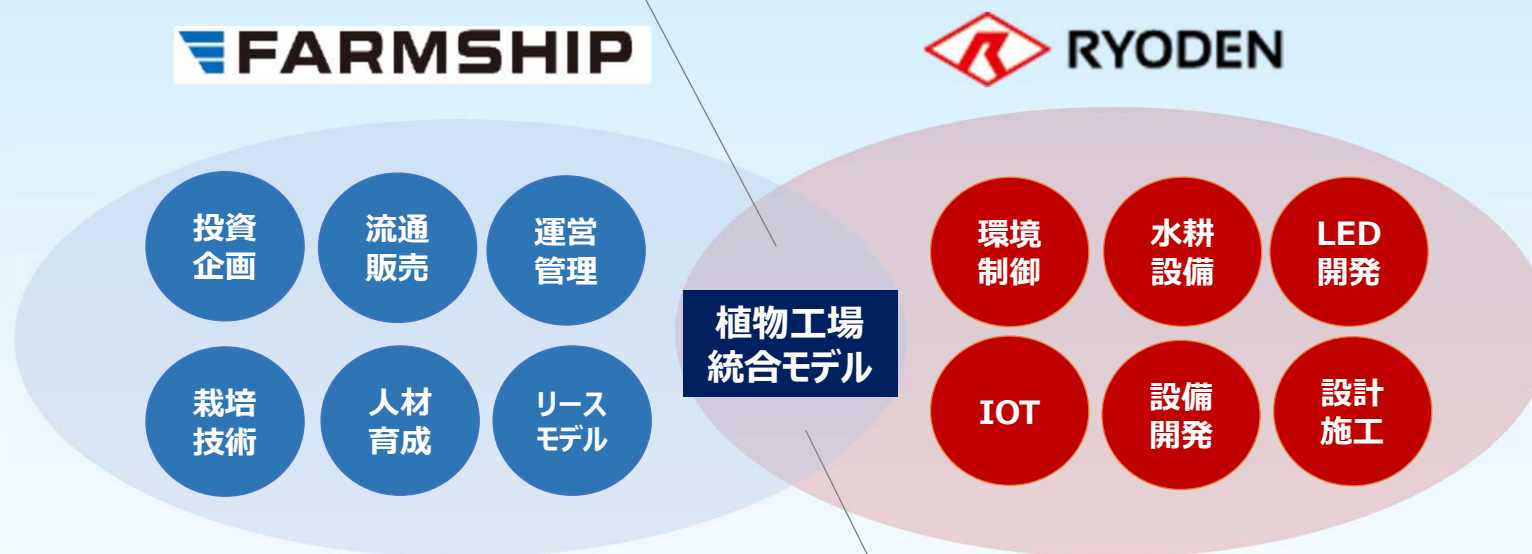
埼玉県加須市
日産3t 2020年3月着工
2020年9月竣工
既設建屋利用型

スマートアグリ事業③：協業事業モデル

「システム・機材・施工分野で業界トップの当社と植物工場野菜流通トップのファームシップ社による協業事業モデルを実現」

他社資本によって大規模植物工場投資を実現する事業提案モデルを両社で確立。

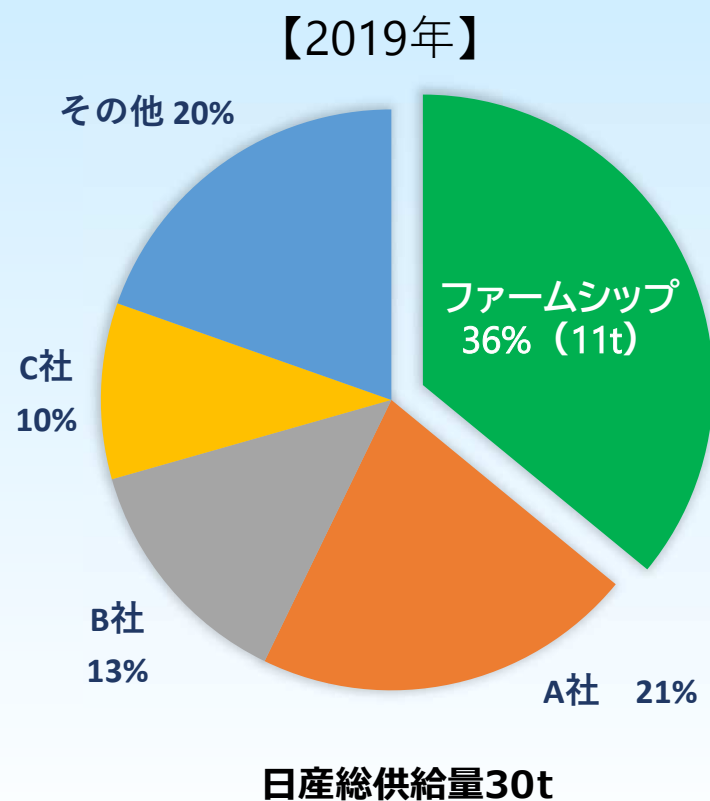
植物工場のシステムのメーカー機能



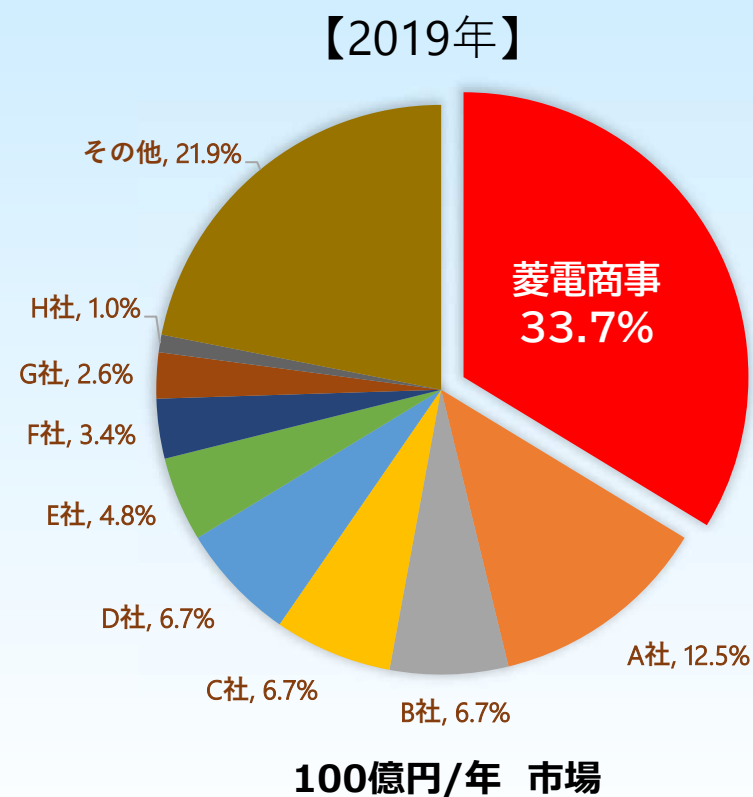
植物工場事業投資におけるソフトとハードを連結し、差別化と実用性の高い提案

スマートアグリ事業④：植物工場市場動向

1. 植物工場有力事業者シェア



2. 設備機材施工シェア



出典：富士経済農林水産ビジネス2020年版（抜粋）

スマートアグリ事業⑤：協業事業モデル

植物工場野菜の生産・販売、次世代農業モデルの開発を行う RYODEN×ファームシップ社の合併新会社「ブロックファーム合同会社」を昨年10月に設立

1. 会社概要

1. 商号	ブロックファーム合同会社 英語表記 BlockFARM,inc.
2. 設立	2020年10月14日
3. 資本金	1000万円
4. 出資比率	菱電商事株式会社60% 株式会社ファームシップ40%
5. 従業員	社員10名 パート約100名
6. その他	農地所有適格法人

2. 施設概要

所在地	静岡県沼津市
規模	日量3トン (法蓮草16万苗換算)
面積	敷地20000㎡ 建屋9000㎡
栽培方式	閉鎖型人工光水耕栽培
新規雇用	100名以上
竣工	2022年3月

3. 特徴

- 1.閉鎖型植物工場では**世界初**の法蓮草を主とする軸物野菜の量産工場
栄養価が高く指定品目野菜である法蓮草の**完全周年栽培**を実現する。
- 2.自然エネルギー活用 全量自家消費メガソーラを併設
- 3.新開発・循環型環境制御システムにより使用電力を**従来比50%削減**
- 4.**加工冷凍設備の導入**により付加価値を拡大



環境ビジョン制定

2020年4月1日、2030年までの環境ビジョンを制定しました。

菱電商事グループ環境ビジョン

菱電商事グループは 2030 年までに

「脱炭素社会への
取り組みを強化する」

【重点取り組み】

- ・電力使用に関する温室効果ガス排出ゼロへ挑戦する
- ・ZEB 等の環境負荷軽減に寄与するソリューションを提供する

「製品ライフサイクル思考に
貢献する環境ソリューションを
創出し環境価値を増大する」

菱電商事グループが
事業活動で目指す
重要なSDGs目標



脱炭素社会に向けた当社の新しい取り組み



スマートアグリ事業：植物栽培LED光源の自社開発

LED lighting device

高効率・省電力・低発熱で
ランニングコストを低減。

植物工場野菜の高速栽培を実現！

植物栽培 LED光源

自社開発品

新製品

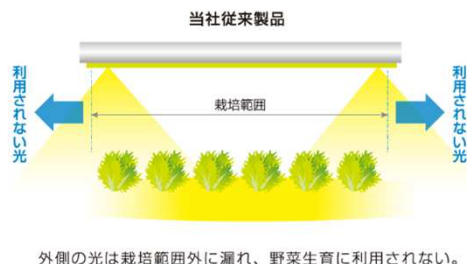
栽培有効エリアの光量 UP!

植物栽培用 LED 光源 反射板付きモデル

PGL-REF-200NWE

特許出願中

光反射による光量アップの仕組み



RYODEN × FARMSHIP



■ 反射機構追加で光量 UP !

光源に反射機構を追加、栽培棚外へ漏れる光量を低減。栽培有効エリア光量 9.2%アップ。(当社比)

■ 当社従来品との互換性あり !

『連結』『防水』『薄型』『低消費』の従来機能を踏襲。形状も変わらず、当社従来製品との設置互換性。

植物栽培LED光源の自社開発



2 飢餓を
ゼロに



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



脱炭素社会に向けた当社の新しい取り組み

スマートアグリ事業：次世代植物工場



- ※**メガソーラ**太陽光発電設備を設け、植物工場で完全自家消費
- ※環境制御の新設備及び統合IoTシステム(REMCES)
による大幅な省エネルギーの実現
- ※加工冷凍設備、還元式ゴミ処理設備による食品ロス低減

栽培室の**購入電力量**…従来比50%削減
植物工場の温室効果ガス排出削減量…年間1,764トン削減

(参考：当社グループが2020年度に排出した温室効果ガス…年間1,495トン)

次世代植物工場



脱炭素社会に向けた当社の新しい取り組み

◆ クラウド型統合管理IoTシステム的一般展開

 **Remces** はモノ作りから人々の暮らしまでをサポートする
RYODEN オリジナルのIoTプラットフォームです。

- 特 徴
- ・ クラウドシステム採用による遠隔可視と高い拡張性を実現
 - ・ 機器、環境情報の一元管理と制御による省人・省力化
 - ・ オープンインターフェース採用によりマルチベンダー接続に対応



脱炭素社会に向けた当社の新しい取り組み

当社事務所使用電力をクリーン電力への切り替え

当社が所有する太陽光発電所(宮城県栗原市)を活用して実現



温室効果ガスを排出しない
クリーン電力への切り替え



※本社ビルは8月16日からクリーン電力へ切り替えが決定
→その他事業所も順次進めていく予定

SDGsへの取り組み

菱電商事グループが事業活動で目指す「重要なSDGs目標」



2. 飢餓をゼロに
持続可能な食料生産
システムへの対応



**3. すべての人に
健康と福祉を**
質の高い保健サービスの開発
交通事故削減への対応



**7. エネルギーをみんなに
そしてクリーンに**
最適なエネルギーの利用



8. 働きがいも経済成長も
革新的な労働環境への対応



**9. 産業と技術革新の
基盤をつくろう**
革新的なインフラ構築の促進



**11. 住み続けられる
まちづくりを**
持続可能な安心・安全なまちづくり



**13. 気候変動に
具体的な対策を**
気候変動への対応

お問い合わせ先



菱電商事株式会社

〒170-8448 東京都豊島区東池袋3-15-15

総務部

e-mail: ryoden_ir@mgw.ryoden.co.jp

TEL: 03-5396-6111

FAX: 03-5396-6448

資料の取り扱い上のご注意

このプレゼンテーションで述べられている業績計画等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。その要因のうち、主なものは以下のとおりです。

- ・主要市場（日本、アジア等）の経済状況、消費動向及び製品需給の急激な変動
- ・ドル等の対円為替相場の大幅な変動
- ・資本市場における相場的大幅な変動等